

I 平成29年度全国学力・学習状況調査結果概要

(1) 調査について

| | | |
|-----|--------|---|
| (1) | 調査目的 | ◎国が、全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童生徒の学力・学習状況を把握・分析し、教育の成果と課題を検証し、改善を図る ◎各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育の結果を把握し、改善を図る |
| (2) | 実施日 | 平成29年4月18日(火) |
| (3) | 対象校 | 町内全小中学校 |
| (4) | 調査対象 | 小学校・6年生(児童56名) 中学校・3年生(生徒66名) |
| (5) | 調査内容 | ①教科に関する調査(国語・算数・数学) |
| | | <u><主として「知識」に関する問題(A問題)></u> 身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能などを問う問題 <u><主として「活用」に関する問題(B問題)></u> 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し、評価・改善する力などに関わる内容を中心とした問題 |
| | | ②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査 |
| | | <u><学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査></u> (例)国語の勉強は好きですか、授業の内容はよくわかりますか、一日にテレビを見る時間、読書時間、勉強時間の状況など |
| (6) | 各教科の領域 | 小中学校国語・・・「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」 小学校算数・・・「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」 中学校数学・・・「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」 |

(2) 結果一覧

| <小学校> | 国語A | 国差 県差 | 国語B | 国差 県差 | 算数A | 国差 県差 | 算数B | 国差 県差 |
|-------|------|----------|------|----------|------|----------|------|----------|
| 神石高原町 | 78 | — | 69 | — | 80 | — | 54 | — |
| 全国 | 74.8 | 3.2 | 57.5 | 11.5 | 78.6 | 1.4 | 45.9 | 8.1 |
| 県 | 77 | 1 | 61 | 8 | 81 | 1 | 47 | 7 |

| <中学校> | 国語A | 国差 県差 | 国語B | 国差 県差 | 数学A | 国差 県差 | 数学B | 国差 県差 |
|-------|------|----------|------|----------|------|----------|------|----------|
| 神石高原町 | 79 | — | 73 | — | 59 | — | 44 | — |
| 全国 | 77.4 | 1.6 | 72.2 | 0.8 | 64.6 | ▲5.6 | 48.1 | ▲4.1 |
| 県 | 78 | 1 | 73 | 0 | 64 | ▲5 | 48 | ▲4 |

(3) 各領域別の調査結果

小学校

○教科に関する調査

| 国語 | 小学校 A | | | | | 小学校 B | | | | |
|-------|-------|-----------|------|------|----------------------|-------|-----------|------|------|----------------------|
| | 教科全体 | 話すこと・聞くこと | 書くこと | 読むこと | 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 | 教科全体 | 話すこと・聞くこと | 書くこと | 読むこと | 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 |
| 神石高原町 | 78 | 69.6 | 66.1 | 75.0 | 81.2 | 69 | 82.1 | 65.4 | 64.3 | — |
| 全国 | 74.8 | 69.2 | 60.6 | 70.2 | 78.0 | 57.5 | 64.9 | 53.4 | 49.2 | — |
| 県 | 77 | 70.3 | 62.5 | 71.3 | 79.7 | 61 | 70.3 | 57.2 | 51.4 | — |
| 対県比 | 1 | ▲0.4 | 3.6 | 3.7 | 1.5 | 8 | 11.8 | 8.2 | 12.9 | — |

| 算数 | 小学校 A | | | | | 小学校 B | | | | |
|-------|-------|------|------|------|------|-------|------|------|------|------|
| | 教科全体 | 数と計算 | 量と測定 | 図形 | 数量関係 | 教科全体 | 数と計算 | 量と測定 | 図形 | 数量関係 |
| 神石高原町 | 80 | 82.6 | 71.4 | 85.7 | 82.5 | 54 | 62.1 | 60.7 | 16.1 | 48.0 |
| 全国 | 78.6 | 80.6 | 68.8 | 81.1 | 79.6 | 45.9 | 52.8 | 47.0 | 13.2 | 40.0 |
| 県 | 81 | 83.0 | 71.2 | 83.1 | 82.1 | 47 | 55.0 | 47.1 | 13.5 | 41.8 |
| 対県比 | ▲1 | ▲0.4 | 0.2 | 2.6 | 0.4 | 7 | 7.1 | 13.6 | 2.6 | 6.2 |

- ・国語は、A問題・B問題共に全国の平均正答率を上回っていることから、学力は概ね定着していると言える。領域別では、A問題「話すこと・聞くこと」がわずかに県平均正答率を下回ったが、B問題では「話すこと・聞くこと」「読むこと」が全国の平均正答率を大きく上回った。
- ・算数は、A問題・B問題共に全国の平均正答率は上回っているがA問題では、県平均正答率をわずかに下回った。領域別ではA問題「数と計算」がわずかに県平均正答率を下回ったが、B問題「量と測定」では、全国の平均正答率を大きく上回った。

○生活・学習に関する調査

- ・県、国を15%以上、上回ったのは次の質問項目である。
 - 「週に1回以上図書館に行く」(県+36.4, 国+32.6)
 - 「復習をする」(県+17.2, 国+21.2)
 - 「話し合い活動で、異なる意見や少数意見のよさを活かしたり折り合いをつけたりして意見をまとめている」(県+18.6, 国+21.2)
 - 「今住んでいる地域の行事に参加する」(県+19.3, 国+23.1)
 - 「地域の大人に勉強やスポーツを教えてもらったり、遊んだりすることがある」(県+16.5, 国+19.6)
 - 「新聞を読んでいる」(県+17.0, 国+20.1)
 - 「『総合的な学習の時間』では、自分で課題を立てて情報収集し発表するなどしている」(県+20.5, 国+23.1)
- ・肯定的回答が95%以上であったのは次の質問項目である。
 - 「毎朝朝食を食べる」
 - 「物事を最後までやり遂げてうれしかったことがある」
 - 「話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞く」
 - 「家の人は、学校の行事に来る」
 - 「家で宿題をしている」
 - 「学校で友達に会うのは楽しい」
 - 「好きな授業がある」
 - 「学校の決まりを守っている」
 - 「友達との約束を守っている」
 - 「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」
 - 「今までの授業では自分の考えを発表する機会があった」

中学校

○教科に関する調査

| 国語 | 中学校 A | | | | | 中学校 B | | | | |
|-------|-------|-----------|------|------|----------------------|-------|-----------|------|------|----------------------|
| | 教科全体 | 話すこと・聞くこと | 書くこと | 読むこと | 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 | 教科全体 | 話すこと・聞くこと | 書くこと | 読むこと | 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 |
| 神石高原町 | 79 | 75.0 | 90.2 | 74.0 | 79.9 | 73 | 71.7 | 64.8 | 72.3 | 47.0 |
| 全国 | 77.4 | 75.4 | 85.7 | 73.8 | 77.2 | 72.2 | 72.4 | 60.8 | 72.1 | 41.4 |
| 県 | 78 | 76.2 | 86.5 | 74.2 | 78.1 | 73 | 73.0 | 61.7 | 72.4 | 41.7 |
| 対県比 | 1 | ▲1.2 | 3.7 | ▲0.2 | 1.8 | 0 | ▲1.3 | 3.1 | ▲0.1 | 5.3 |

| 数学 | 中学校 A | | | | | 中学校 B | | | | |
|-------|-------|------|------|------|-------|-------|------|------|------|-------|
| | 教科全体 | 数と式 | 図形 | 関数 | 資料の活用 | 教科全体 | 数と式 | 図形 | 関数 | 資料の活用 |
| 神石高原町 | 59 | 60.9 | 62.1 | 56.1 | 53.4 | 44 | 43.4 | 41.9 | 49.0 | 46.0 |
| 全国 | 64.6 | 70.4 | 66.0 | 57.4 | 57.6 | 48.1 | 46.3 | 47.1 | 50.8 | 49.1 |
| 県 | 64 | 69.7 | 66.1 | 57.2 | 58.4 | 48 | 47.1 | 47.0 | 51.1 | 48.8 |
| 対県比 | ▲5 | ▲8.8 | ▲4.0 | ▲1.1 | ▲5.0 | ▲4 | ▲3.7 | ▲5.1 | ▲2.1 | ▲2.8 |

- ・国語は、A問題・B問題共に教科全体では全国の平均正答率を上回っている。また、A問題・B問題の平均正答率の差があまりないことから、基礎・基本と活用力がバランスよく身につけていると言える。領域別では、「話すこと・聞くこと」「読むこと」において、全国または県平均を下回っている。
- ・数学においては、A問題・B問題共に、全国及び県の平均正答率を下回っている。領域別に見ても、全ての領域で全国及び県平均を下回っている。数学における課題は大きい。

○生活・学習に関する調査

- ・県・国を15%以上、上回ったのは次の質問項目である。
 - 「学んだことを他の学習や普段の生活に生かしている」(県+15.5, 国+19.9)
 - 「週に1回以上図書館に行く」(県+31.5, 国+30.3)
 - 「今住んでいる地域の行事に参加する」(県+29.3, 国+33.3)
 - 「新聞を読む」(県+17.6, 国+22.0)
 - 「『総合的な学習の時間』では自分で課題を立てて情報を集め整理し発表している」(県+15.8, 国+23.4)
 - 「1・2年生の授業や課外活動で、地域のことを調べたり地域の人と関わったりする機会があった」(県+17.4, 国+26.3)
- ・肯定的回答が95%以上であったのは次の質問項目である。
 - 「学校の部活動に参加している」
 - 「友達との約束を守っている」
 - 「1, 2年生の授業では目標(めあて)が示されていた」

<今後に向けて>

○今回明らかになった課題について、各学校において児童生徒の誤答分析を通して、つまづきの現状を的確に把握し、授業改善に活かす。特に、教科の本質を的確に捉え、児童生徒の主体的な学びを実現する学習展開の工夫に向けた取組を一層推進する。また、生活・学習に関する調査との関連を分析し、授業改善に活かすと共に、効果的であった指導についても具体を分析し、今後の指導につなげる。